

# かがやく 女性部

## 園児たちに一年通して食育活動 感謝会で交流楽しむ

女性部東和支部は、花巻市東和町成島地区在住の部員たちを中心に、地元にある成島保育園で「畑の先生」として一年を通して食育活動を行っています。同支部が町内の教育機関などに届けているサツマイモ苗を中心に、約10種類の野菜を保育園の畑で栽培。園児たちと定植や収穫を行っているほか、除草などをして畑の管理をしています。

11月17日には、園児13人が1年間の感謝を部員たちに伝えるため感謝会を開きました。園児



部員と楽しく食事をする園児たち

たちが野菜を包丁で切るなど料理を作って部員5人をおもてなし。保育園の畑で

とれたジャガイモやカボチャ、小豆を使用して作ったカレーライスや「小豆カボチャ」などを交流しながら食べ、楽しみました。

その後、お互いに音楽や踊りを披露して交流を深めました。

部員の藤川東子さんは「この日を待ち望んでいて、楽しいひと時を過ごせた。この活動は、園児たちに『食べ物には土からいただいている』ことを伝えたくて続けている」と話しました。



部員が披露した「大きな栗の木の下で」では、園児たちと一緒に踊りを楽しみました

## 心を耕し未来へ 食と農の掲示板

食べ物の大切さ、農業の尊さを伝えたい  
～大迫地区農家組合「かぼちゃプロジェクト」～



笑顔溢れる贈呈式



伯爵と雪化粧の2種類を栽培。1つの苗に実をつける量を減らし良食味を目指して仕上げました



大迫町支店管内の15農家組合と同支店では、カボチャを育て町内の保育園や小・中学校、福祉施設の給食用として毎年贈呈しています。

この取り組みは、平成23年の東日本大震災の時に被災地へカボチャを送った際、食べることや農業の尊さを再確認したことがきっかけで、「地元の子どもたちにも農業の大切さや地元でとれた農作物のおいしさを伝えたい」と、「かぼちゃプロジェクト」として立ちあげました。

5年目を迎えた今年は、11月11日～21日に大迫地区農家組合協議会の佐々木久夫会長や佐々木政行さん、藤

根清支店長が各学校や施設を訪問し、心を込めて栽培したカボチャを手渡し、思いを伝えたほか、支店に来店した希望者にもプレゼントしました。11日に贈呈式を行った内川目保育園の佐々木珠莉ちゃん(6)は「おいしくなるように大切に育ててくれたカボチャ、食べるのが楽しみ」と喜び、笑顔を見せました。

プロジェクト発案者の同協議会員の佐々木政行さんは「地域農業と食の大切さを伝え続けていきたい。地場産農作物のおいしさや農業の尊さを感じてもらえれば」とプロジェクトへの思いを語りました。